

はじめに

私たちが当面する環境課題につきましては、大気汚染や水質汚濁、騒音、振動といったこれまでの典型7公害への対応に留まらず、ヒートアイランド現象などの都市環境問題や低炭素社会の構築など地球規模の問題解決に向けた広範な取り組みが求められています。

このような状況の下で、川崎市は良好な環境の保全及び創造を目指す総合的な環境行政の中心として位置付けられる環境基本計画において、「健康な市民生活が営める安全なまち」、「うるおいとやすらぎのある快適なまち」、「地球環境にやさしい持続可能な循環型のまち」の三つの環境像から形成される「人と環境が共生する都市・かわさき」を望ましい環境像と定め環境政策の目標としています。川崎市公害研究所では、環境基本計画に示す市の環境像の将来にわたる質的な向上を図り、地域の環境課題を的確に把握し大気・水環境、都市環境のさらなる環境改善及び環境汚染の未然防止に向けた調査研究を推進し、市民の健康や生活環境の保全の確保を目指しています。

この川崎市公害研究所年報第37号は、大気騒音振動研究担当、水質研究担当、都市環境研究担当、環境学習担当において、平成21年度までに実施した調査研究の成果を取りまとめたものです。環境改善へ向けた皆様の取り組みの参考としていただければ幸いです。

平成22年12月

川崎市公害研究所
所長 柴田幸雄